

第3回 Global × Innovation人材育成フォーラム



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学における 留学促進・グローバル 人材育成の取組

2024年 8月 6日

東北大学

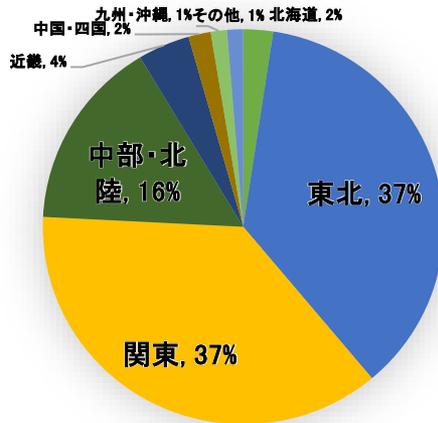
副学長（教育改革・国際戦略担当）

山口 昌弘

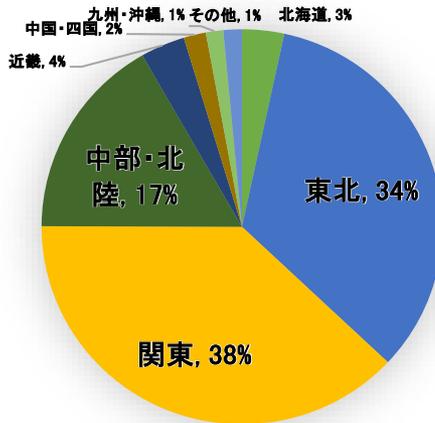
東北大学の2つの顔

東北地方に立地する国立大学

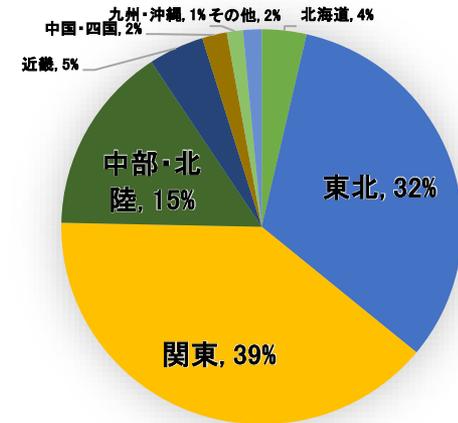
入学者のうち東北出身：34%、関東出身：38%（過去3年間平均）



2022年度入学者



2023年度入学者



2024年度入学者

国際的な卓越性を追求する総合研究大学





短期海外派遣プログラム

日本では得られない貴重な体験を通じて国際的な視野を育む

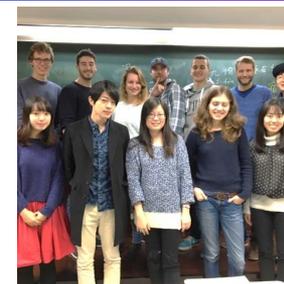
- 長期休業期間（夏・春）を利用して参加できるプログラム
- 様々なテーマに沿った体験学習や特色ある語学講座、現地学生やコミュニティーメンバーとの交流、など



大学間協定（派遣）交換留学プログラム

大学間学術交流協定を結ぶ
海外の大学等に1学期～1年間派遣
現地の学生と交流し、
多様な価値観に触れて経験を積む

- 留学先大学等での授業料は不徴収
- 留学先大学等で取得した単位は、東北大学の単位として認定可能
- 東北大学の在籍期間としてみなされるため、1学期又は1年間に渡り留学した場合でも、留年せずに卒業が可能



グローバルキャンパスサポーター（GCS）

交換留学等の留学経験を持ち、
留学先で得た経験や知識をもとに、
留学を目指す学生を支援する
学生サポーター

- 留学希望者の様々な悩みや不安をサポートできるように、所属学部や留学先が多様なメンバーで構成
- 留学の基本情報に関するものから留学後のキャリア、高校生向けイベントまで、幅広いジャンルのイベントを開催



単位取得を伴う派遣学生数が増加（2013年：220名→2019年：824名）



学部学生を対象とした「グローバル人材としての能力」を身につけるための実践プログラム、海外留学を必須

目的

- 専門能力を十分に発揮し、産学官の様々な分野でグローバルに活躍する人材を輩出

プログラム概要<充実の専門科目群>

- グローバルリーダー育成のための指定授業科目：**207** (2024年度)
- グローバルリーダーに要求される4つの基盤

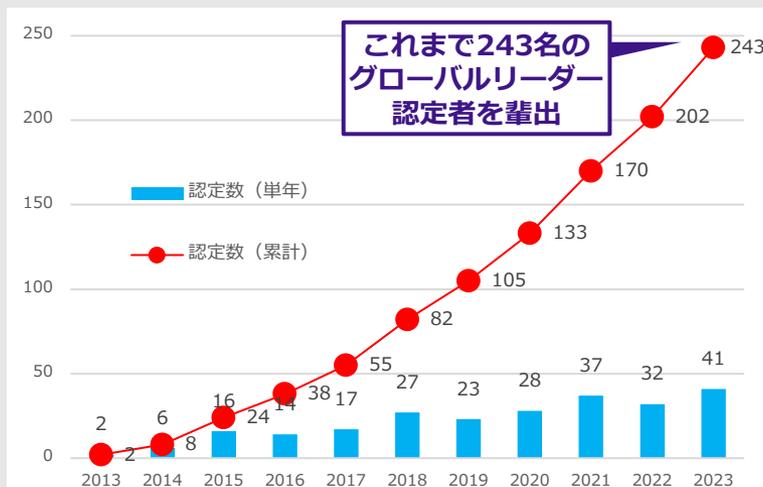
各能力を養成する
4つの強力な
サブプログラム群

- 語学力・コミュニケーション力
- 国際教養力
- 行動力
- 海外研鑽



グローバルリーダー認定者 <2022年度後期>

グローバルリーダー認定者数



東北大学公認のオープンバッジを発行

東北大学公認オープンバッジイメージ





オンキャンパスでの国際経験の機会を拡大 留学との相乗効果

国際混住型学生寄宿舍（UH）での国際共修

2018年度に752戸のUH青葉山を新設
→ 1,672名定員 = 日本人879名 + 外国人793名



UH入居者へのアンケート結果

異文化理解に対する興味が増した。	337名 (69%)
異文化交流に積極的になった。楽しくなった。	300名 (61%)
もっと英語(日本語)を上達したいと思うようになった。	385名 (78%)

(2018年度調)

入居前と退去時で異文化交流に関する大きな意識の変化（教育効果）が生じていることが確認

言語・文化を超えてともに学ぶ！国際共修ゼミ

2023年度：66クラス・約1,100名履修、国内学生と留学生の比率は3：1

国際共修ゼミのテーマ

- ・ 日本語教育をベースとした共修
(例：日本文化を考える)
- ・ グローバル教育をベースとした共修
(例：キャンパス国際化への貢献)
- ・ 地域社会との連携で行う共修
(例：仙台の国際化推進)

グッドプラクティスの横展開

- ・ 国際化促進フォーラムにおいて国内6国立大学との単位互換交流を実施
- ・ 本学の国際共修の取組をテーマに、学外のFD等で、そのノウハウを他大学へ展開



国際共修ゼミは、「新しい知識・技能を得ることができた」など、全ての項目で高い授業評価を獲得



- 本学の卓越した研究成果を活かした先端的教育プログラム
- 海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践
- 研究留学が必須（6ヶ月以上）
- 学生数：298名、海外派遣数：149名（2023年度）
- ダブルディグリーなど約30大学と覚書を締結



スピントロニクス

シカゴ大学（THE13位）ほか



環境・地球科学

ソルボンヌ大学（THE75位）ほか



宇宙創成物理学

ワシントン大学（THE25位）ほか



生命科学

スイス連邦工科大学（THE11位）ほか



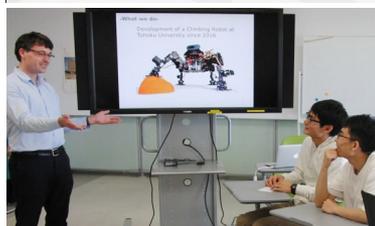
災害科学・安全学

ハーバード大学（THE4位）ほか



データ科学

ウブサラ大学（THE140位）ほか



機械科学技術

ミュンヘン工科大学（THE30位）ほか



材料科学

ケンブリッジ大学（THE5位）ほか



日本学

ハイデルベルク大学（THE47位）ほか



統合化学

チューリッヒ大学（THE80位）ほか



国際的な卓越性を追求する研究大学にふさわしい学部教育として「ゲートウェイカレッジ」を設置

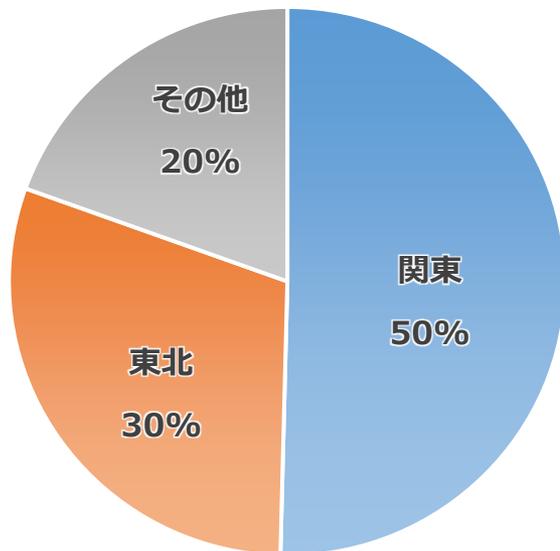
- **国際的に活躍できる能力を学部段階から養成**
 - 国内学生と留学生がともに学ぶ国際共修環境を整備
 - 入学後半年は徹底した英語イマージョン教育を実施
 - 授業は、原則英語。世界とつながった教育環境
 - 交換留学等により国際経験を必須化
- **大学院への接続を見据えたカリキュラム**
 - 学生の専攻分野選択やキャリア形成に関する意思決定のための時間を確保

国内学生100名、留学生100名からスタート
2027年開設予定



- 出身地域的な要因や経済的な要因で留学経験の有無に違いが生じてきている

交換留学における出身地域別割合
(2023~2024)



関東出身者の割合が突出

考えられる要因（留学相談より）

- 留学に関する情報
- それまでの留学経験
- 家庭環境
- 経済的状況 など

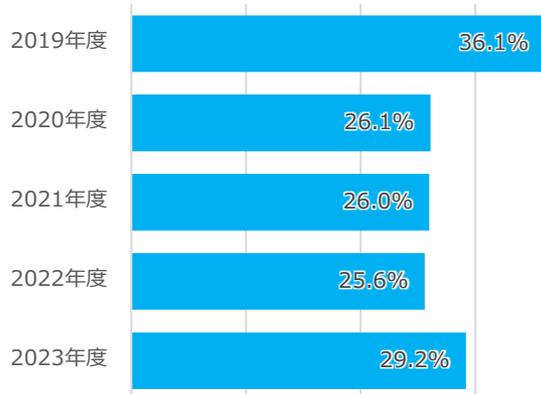
- 留学が格差を助長する懸念がある。「留学困難者」や「留学ファーストジェネレーション（家族の中で初めて留学する人）」などへのケアが必要ではないか



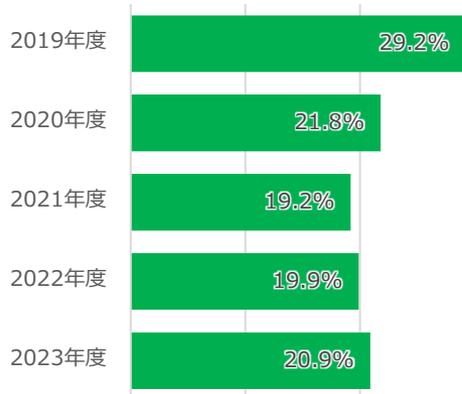
留学意欲が低下（東北大学学生調査）

今後、東北大学在学中に海外留学をしたいと思いませんか？
「はい」と回答した割合

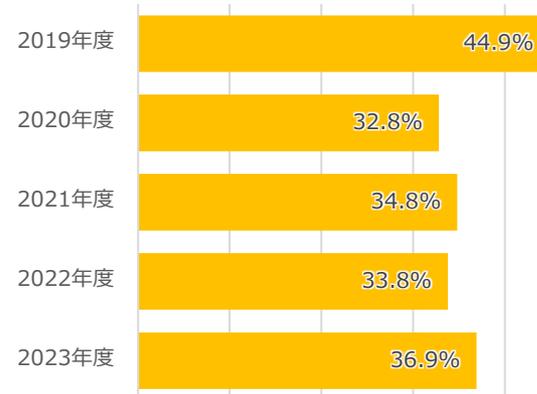
学士課程



修士課程



博士課程



短期留学プログラムの参加費用（プログラム費用+旅費・滞在費）が約2倍に高騰

2018年度	2024年度
平均40万円	平均76万円
JASSO奨学金は月額8万円のまま変わらず	

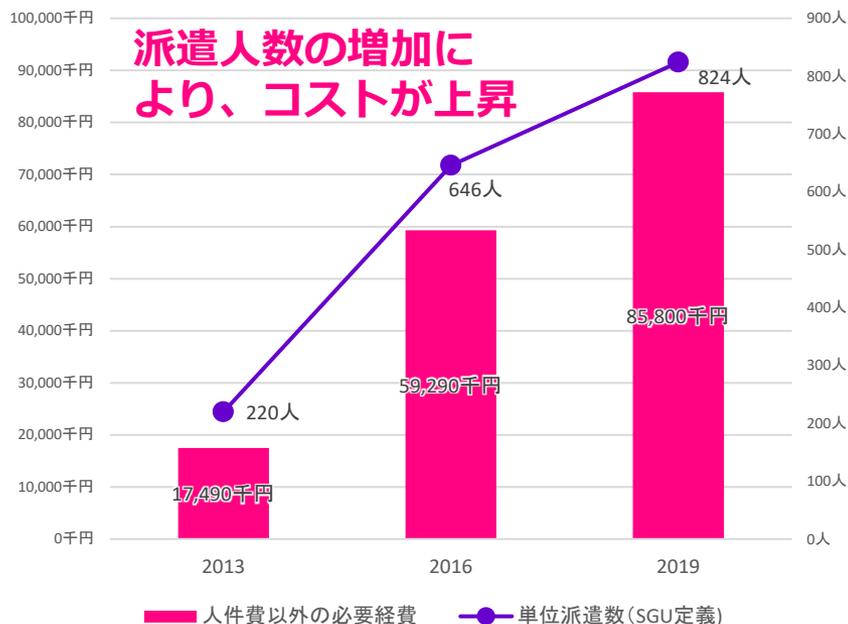
* 本学ではプログラム費用は大学負担

留学を断念した学生の声

- 米国協定校への交換留学決定・渡航後に、物価の高騰と円安により生活困難となり、当初の留学予定期間を短縮し帰国
- 米国への交換留学を希望。前年度の留学にかかる平均費用（授業料以外で220万円～280万円）を伝えたところ留学を断念



派遣期間を問わず学生の海外派遣のために、教職員は「アドバイジング・広報周知」「問い合わせ対応」「海外留学大学との交渉」「新規留学先開拓」「奨学金手続き・新規獲得」「事前・事後指導（危機管理教育含む）」「留学中のケア（保護者対応）」「成績評価対応」など**人的・財務的コストが大きく発生**しており、今後の派遣数拡充にあたり、**大学における実施体制構築が大きな課題**





- 留学等のグローバル経験は、個人の能力向上に資するとともに、社会に還元される。グローバル経験のある人的資本の充実のため、受益者は社会全体であると捉え、支援を抜本的に拡充すべき
- 留学者の増加のため、教育現場のみならず政府や企業を含む社会全体として、留学情報提供、啓蒙活動に加え、経済支援のための財源の大胆な投入が不可欠
- その際、留学困難者や留学ファーストジェネレーション等へ十分に配慮し、グローバル人材の裾野を広げるべき
- さらに、留学経験者を高く評価する社会環境を作り出すこと（例：就職等で有利）も重要